

日本国際理解教育学会特定課題研究
「難民問題から国際理解教育を問う」プロジェクト
第7回公開研究会

難民問題を考える学習の「これまで」と「これから」

2016年9月からスタートした学会の特定課題研究「国際理解教育における理念と方法を問い直す」のプロジェクトの一つである「難民問題から国際理解教育を問う」の第7回公開研究会です。

いよいよ3年目をむかえる今、改めて「社会構造の中にある難民性」「自分の中にある難民性・当事者性」「難民問題の解決に向けての市民性」の視点で「これからの難民問題学習のあり方」について考えます。難民問題学習における学習者の価値観や行動・人間関係の変容につながる学びを生み出す学習のあり方について考えることをねらいとしています。

多くの皆さまのご参加をおまちしています。

- テーマ : 難民問題を考える学習の「これまで」と「これから」
日時 : 2018年10月28日(日) 13:00~16:00
場所 : 早稲田大学戸山キャンパス 33号館・第10会議室(16階)
(東京メトロ東西線早稲田駅徒歩5分)
内容 :
1. 「難民問題を考える学習」から「難民問題から考える学習」へ
山中信幸(川崎医療福祉大学)
 2. 難民問題を自分ごととして考える視点の一考察
金城さつき(沖縄国際大学)
 3. 人権学習・平和学習から観た難民学習
風巻浩(聖心女子大学)
- 参加 : 定員40名。
テーマに関心をお持ちの方は自由にご参加ください。無料。

問い合わせ : 山西 (yyuji@waseda.jp) まで。